

少年

第487号(1) 令和8年10月発行



山梨県警察本部
生活安全部 人身安全・少年課
甲府市丸の内1-6-1
055-221-0110 内線3082
少年対策官 西川 卓

行事で成長～つくる側に立つ～

10月は地域のお祭り、学校の学園祭や合唱祭、運動会など多くの祭や行事が行われる季節です。祭りや行事には普段とは違う特別な雰囲気があります。華やかな飾りや多くの人々の笑顔など、日常では味わえない魅力があります。

祭りや行事は、参加する人々を喜ばせ、伝統や文化を受け継ごうとする人々がいることを忘れてはいけません。祭りや行事を成功するために多くの人々が関わり、多くの時間を費やし、準備しています。企画を立てる人、装飾をする人、宣伝をする人、受付や案内をする人、司会など進行する人、演奏や発表する人、安全管理や救護を行う人など、祭りや行事を「つくる」力によって成り立っています。

祭りや行事を作り上げる課程には、多くの学びがあります。自分の役割をやり遂げることで責任感が育ちます。参加する人に喜んでもらうために、内容や順序を考えることで計画力が身につきます。劇や合唱で表現力を磨くことができます。努力して行事を完成させた時には大きな達成感を味わうことができます。行事は個人の力の成長だけでなく、集団の力が成長する機会でもあります。仲間の中には体力面、器用面など得意・不得意など個性があります。そうした仲間の特徴を理解し、励まし、支え合うことで集団の成長につながります。また、準備・練習の過程や本番の仲間の活動を観察することで、仲間の新たな良さに気づくこともあります。仲間の才能や魅力を見つけ、褒め合うことができれば互いの信頼を深めることにもなります。合唱や応援、ムカデ競走など、ひとりではできないことをみんなで成し遂げたとき、集団の力の大きさを実感できるはずです。失敗もあると思いますが、失敗からしか学べないものも多くあります。

「つくる」側の経験をすることで、祭りや行事に対する人々の思いやつくりあげる努力を知るだけでなく、別の祭りやイベントに参加する時に、より楽しめるようになるとともに、何かを学ぶことができるようになると思います。

自分を変えるチャンス～挑戦する～

私が高校3年の学園祭の時、クラスで劇をすることになりました。役割を決める話し合いで、ほとんど声を聞いたことのないおとなしい女子生徒が役者に立候補しました。正直、「声が出せるのか」などの不安がありましたが、劇の練習が始まると彼女は別人のように大きな声を出し、本番では「厳しい看守」という役を堂々と演じきりました。後で立候補した理由を聞くと「声優になりたいので挑戦した。」と話していました。当時の私は漠然と大学進学を目標にしていたので、将来を考え、自分を変えようとする彼女の姿に尊敬すら感じたことを今でも思い出します。

行事には、自分を変える機会があります。また、絵が得意な人が学級旗の制作に取り組むなど自分の長所や特技を生かして活躍できる機会でもあります。楽な仕事を探したり、くじなどの運で決まった仕事を嫌々したりすることは、成長の機会を逃すことになります。結果を恐れず、挑戦する過程に価値があります。行事で新しい自分を発見するきっかけにしてほしいと思います。

「SNS」「AI」に関わるニュース

新聞やテレビ、ネットのニュースを眺めていると、毎日のように「SNS」や「AI」という言葉が出てきます。新しい情報を知ることによって世の中の流れを読み取ったり、危険を察知できたりします。7、8月の2ヶ月間のニュースの中からいくつか簡単に紹介しますので、詳しく内容を調べたり、社会の未来について考えたり、学校や家庭・職場などで自分の意見を話し合ったりしてみてもいかがでしょうか。

「AI」や「SNS」に関連するニュース

●2026年7月のニュース

○中国で9歳の少年がAIで「安全」と判断された野生のキノコを食べて一時危篤状態に陥り、8日間入院した。

○アニメの配信サービスへサイバー攻撃し、4万6千人分の会員を無断で退会させたとして偽計業務妨害の疑いで15歳の高校生を逮捕した。

○ある公式アプリのサーバーに不正な指令を送信し、会員情報を不正に取得した18歳の会社員を偽計業務妨害と不正アクセス禁止法違反で逮捕した。犯行当時は高校2年生だった。

○AIを使い、芸能人の肖像や声優の声を無断で生成したとみられる画像・動画が昨年6月からの2ヶ月間で4万3483件確認された。芸能人らが受ける経済的損失を約20億～45億円と試算している。

○SNSの閲覧数やフォロワー、「いいね」などの数値を操作することができる「スマホ農場」と呼ばれる拠点が存在する。

●2026年8月のニュース

○80年にわたり未解決だった難問をAIが解明した。新しい治療薬につながる可能性を秘めた標的遺伝子の候補をAIが見つけた。

○AIが音楽作りの可能性を広げ「作り手」としても存在感を増している。音楽市場で、人間とAIが競い合う時代が現実味を帯びてきた。

○AIなどを使って18歳未満の児童の画像を加工した「性的ディープフェイク」について今年上半年に警察が取り扱った事案は全国で123件あった。全体の約7割が被害者の同級生や同じ学校など、面識のある人の関与が疑われたが、SNSを通じて知り合った人物の関与が疑われるケースもあった。

○インターネット上で誹謗中傷した投稿者を特定するための裁判手続き「発信者情報開示命令」の申立件数が2025年に初めて1万件を超えた。

○新聞で取材した際に撮影した熊本地震の被災者の写真をAIで表情やポーズを加工し、その偽画像が拡散された。被災者の尊厳を傷つけるものである。

○北京で開催した「世界人型ロボット大会」の100m走で9秒39のタイムを記録し、人類記録である9秒58を抜いた。

正しい知識を持ち、被害にあわないように気をつけてください。また、違法とは知らずに、いつの間にか加害者にならないように、「AI」や「SNS」を利用してほしいと思います。闇バイトに関わる事件も後を絶ちません。「1日で〇万円」「簡単な仕事」「ホワイト案件」などSNSのバイト勧誘情報等を見極め、犯罪に巻き込まれないようにしてください。

発行番号は昭和61年初号からの通算番号です。

http://www.pref.yamanashi.jp/police/p_syonen/shonenkoho.html